

第4学年 体育科学習指導案

(合計24名)

1. 単元名「ハンドボール」(8時間計画)

2. 運動の特性

(1) 一般的特性

2つのチームが入り交じって、パスやドリブルを使ってボールを進め、相手チームの防御をかわしてゴールにシュートし、勝敗を競い合うことが楽しいゲームである。また、チームで協力して、攻め方や守り方(作戦)を工夫して、攻めたり守ったりすると楽しさが増してくる運動である。

(2) 子供から見た特性

A 楽しさ体験(運動の特性に触れる楽しさ体験の状況)

事前のアンケートでは、クラス全員の子供が「ボール運動は好き・好きなほう」と答えている。その理由としては「ボールを投げたり捕ったりできる」「ボールを蹴れる」「シュートすると楽しい」などが挙げられている。また、どんなボール運動が好きですか?の間では、「ドッジボール」21人「サッカー」7人「野球」3人「バスケットボール」1人で、クラスのほとんどの子供がドッジボールに楽しさを感じている。

休み時間の様子は、ボールを使って遊んでいることは多いが、そのほとんどが柔らかいボールでのドッジボールである。また、男子の人数が少ないこともあり、男子と女子と一緒に休み時間を過ごすことも多い。このことから、日頃から運動に親しんでいる子供は多いもののレクリエーション的遊びで楽しんでいることがわかる。

B 運動の学び方(学び方に関する学習経験の状況)

事前のアンケートでは、ボールゲームのめあてをたてることができますか?の間に対して、「とても上手に・上手に」が17人「あまりできない」が7人の子供が答えている。また、どんなめあてをたてましたか?では、「協力する」が10人「パスをする」が9人「シュートをする」が4人と多く、その他には「声を出す」「点を取る」「がんばる」等をあげ動きに目を向けている子供より、マナー面、精神面をめあてにしている子供が多いことがわかる。

また、1学期のバスケットボールの学習では、総当たり戦一対抗戦の学習過程を経験している。この学習では、どのチームも話し合いながら作戦を立てたが、経験程度に終わっている。ゲーム中には、チーム内や相手チームとのトラブルがみられたため、トラブルになった原因を考え、解決するにはどうしたらよいか話し合い、全体にも広めていった。このことにより、マナー面が少しずつ改善されてきているところである。チームタイムでは、話し合い中心のグループがほとんどであり、少しは練習しているグループもあるが、漠然とした練習が多くめあてを意識した練習にはなっていない。

学習ノートは、ゲームの感想が中心ではあるが、しっかり書けるようになってきた。しかし、めあてを意識した反省や次時へとつながるものにはなっていない。

C 技術(技術の習得状況)

クラスのレクリエーションや休み時間におけるボール遊びの状況から、ボールを投げたり捕ったりすることに対して随分慣れ、抵抗感はなくなってきた。しかし、自分の思い通りにボールを操作できる子供はまだ少なく、ボールの硬さによっては怖がる子もいる。また、ボールを投げる・捕る力ともに個人差があり、男女差も大きい。

事前のアンケートでは、ボールを上手に投げることができますか?の問いに対しては「とても上手に・上手に」が18人「あまりできない・できない」が6人。ボールを上手に捕ることができますか?では「とても上手に・上手に」が15人「あまりできない・できない」が9人。ボールを上手にドリブルできますか?では「とても上手に・上手に」が18人「あまりできない・できない」が6人、とボールを操作することに対しては自信がない子供も多い。

3. 学習を進めるにあたって

本単元では、アンケートの結果からほとんどの子供が、初めて出会うゲームであるので、ゲームでみられる一つ一つの動きも大切にしたいと考える。そこで、ハンドボールの基礎となるパスの技能に視点を当て学習を進めていくものとする。つまり、子供達がゲームの楽しさを味わいながら、自分たちの技能を伸ばしていける学習を仕組んでいくこと、自分たちのめあてを明確にもたせ、めあてに沿った支援をすることが大切と考えた。

そのために、次のような学習過程を組み、支援を行っていく。

○学習過程

めあて1では、パスの動きが入ったミニゲームを経験することと、ゲームを知りゲームに慣れることを大切にしていける。その際、自分達のチームの特徴を知り、簡単な作戦を立ててゲームを楽しませてもらいたい。1単位時間の前半をミニゲーム、後半をゲームとする。前半のミニゲームではパスの動きを入れたミニゲームを行い、ゲームを楽しみながらハンドボールの動きの基礎となるパスに慣れさせていくものとする。後半はゲームを行い、ゲームに慣れチームの特徴を知る時間として活動させていける。

めあて2では、チームで大切にしたい動きをめあて(作戦)とし、総当たり戦のゲームを楽しませてもらいたい。1単位時間はゲームーチームタイム(作戦・練習)ーゲームの学習過程をとる。特にチームタイムでは、自分たちのめあて(作戦)を意識した練習を、ミニゲームを生かして考え、実践していきけることを大切にしていける。

○支援

ミニゲームでは、パス中心のミニゲームをさせることにより、仲間を意識したパスの技能を身に付けさせていける。その際、子供達の状況に合わせて、より楽しめるミニゲームに工夫していきけることと、パスをする時の見つけたポイントを学習ノートに記録し、財産としていける。

ゲームでは、具体的なめあてをたてるように支援し、そのめあてに向けて活動させていける。特に、めあて2のチームタイムを有効に活用させるために、話し合いだけで終わらないように練習時間を取るよう声をかけをし、練習内容もミニゲームで行ったパスからの動きを中心にアドバイスしていける。また、単元を通して励まし合いの声かけや、作戦を意識した声かけができているチーム、がんばって練習しているチームを紹介し、賞賛することで支持的風土を広げていける。

4. 学習のねらいと道すじ

(1) 学習のねらい

基礎的な動き(パス)に慣れ、簡単な作戦を立ててハンドボールを楽しませる。

(2) 学習の道すじ

めあて1:ルールやゲームに慣れながら、パスを使ったミニゲームやゲームを楽しむ。

めあて2:チームで簡単な作戦を立てて、チームタイムを生かし総当たり戦のゲームを楽しむ。

6. 本時 平成17年10月21日(金曜日) 場所 運動場

7. 本時のねらい

○チームでめあてをたてて、そのめあてを意識して仲間と協力してゲームを楽しむことができるようにさせる。

○パスがうまくつながるために、パスの仕方や動きを理解することができるようにさせる。

8. 本時の学習を進めるにあたって

子供たちは、前時までめあて1とめあて2の2時を終えている。めあて1では、ミニゲームやゲームを楽しみながらボール操作に慣れ、ゲームやルールにも慣れながら学習を進めてきた。めあて2では総当たり戦を行い、1単位時間の流れは、ゲームⅠ、チームタイム、ゲームⅡで進めてきた。そこで、ゲームⅠではグループで決めためあてを意識させゲームを進めさせる。チームタイムでは、前半のゲームをふり返り、その解決に役立ちそうな練習を行い、個人的な技能やチームの動きを高めていきたい。ゲームⅡでは練習したことを生かしながらゲームを行わせたい。また、学習のまとめでは、ゲームの振り返りをクラスの財産とすると共に次時のめあてへとつなげさせていきたい。

9. 準備 ハンドボール、ゴール、ゼッケン(6色)、得点板、タイマー、ディスクコーン、チームノート、個人ノート

10. 展開(6/8)

	学習活動と内容	指導・支援						
0	1. 学習の準備とめあての確認をする。 ○ グループで協力してコートや用具の準備をする。 ○ めあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> めあて2 チームで簡単な作戦をたてて、チームタイムを生かしゲームを楽しむ。 </div>	○用具の準備が安全に行われるようにする。 ○めあてと学習の流れについて確認させる。 ※ めあてを意識してゲームをしたり声かけをしたりしているチームを賞賛する。						
5	2. ゲームⅠをする。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>Aコート</td> <td>1-5</td> </tr> <tr> <td>Bコート</td> <td>2-3</td> </tr> <tr> <td>Cコート</td> <td>4-6</td> </tr> </table>	Aコート	1-5	Bコート	2-3	Cコート	4-6	
Aコート	1-5							
Bコート	2-3							
Cコート	4-6							
15	3. チームタイムをする。 ○ ゲームⅠの様子から反省をして練習内容を考え、グループで練習する。	※ チームの課題に応じた練習になっているか声かけをする。 ※ 練習方法が見つからないチームについては課題に応じた練習方法を示す。						
25	4. ゲームⅡをする。 ○ 練習したことを意識してゲームに生かす。	※ 練習したことをゲームに生かしている姿を賞賛する。 ※ チームの中で動きや雰囲気盛り上げる声かけをしている子供を賞賛する。						
35	5. 学習のまとめをする。 ○グループで話し合いめあてのふり返りをする。	○次の観点で話し合わせる。 ・ めあてはうまくいったか。 ・ わかった・できたことはあったか。						
40	6. 後片付けをする。	○用具の後片付けが安全に行われるようにする。						

5. 学習と指導の計画

	1	2	3	4	5	⑥	7	8																														
0	1. 学習の見通しを持つ。 ○ 学習の進め方 ○ 場の作り方	1. 学習の準備とめあての確認をする。 ○安全に気をつけてコート の準備をする。	1. 学習の準備とめあての確認をする。 ○安全に気をつけてコート の準備をする。	1. 学習の準備とめあての確認をする。 ○安全に気をつけてコート の準備をする。																																		
10	めあて1:ルールやゲームに慣れながら、パスを使ったミニゲームやゲームを楽しむ。	めあて2:チームで簡単な作戦を立てて、チームタイムを生かし色々なチームとゲームを楽しむ。		めあて2:チームで簡単な作戦を立てて、チームタイムを生かし色々なチームとゲームを楽しむ。																																		
	2. パスミニゲームを行う。	2. パスミニゲームを行う。 各チームでパスを30回まわしたらゴールにシュートする。 ※ 時間内であれば何回も対戦できる。 ※ ゲームに慣れると反対にボールを回すなど工夫する。 ※ パスの種類をバウンズパスなどに変える。	2. パスミニゲームを行う。	2. ゲームIを行う。 ○めあてを意識してゲームを行う。		<table border="1"> <tr><td>A</td><td>1-2</td></tr><tr><td>B</td><td>3-4</td></tr><tr><td>C</td><td>5-6</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td>A</td><td>3-6</td></tr><tr><td>B</td><td>2-5</td></tr><tr><td>C</td><td>1-4</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td>A</td><td>1-5</td></tr><tr><td>B</td><td>2-3</td></tr><tr><td>C</td><td>4-6</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td>A</td><td>4-5</td></tr><tr><td>B</td><td>1-3</td></tr><tr><td>C</td><td>2-6</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td>A</td><td>2-4</td></tr><tr><td>B</td><td>1-6</td></tr><tr><td>C</td><td>3-5</td></tr> </table>			A	1-2	B	3-4	C	5-6	A	3-6	B	2-5	C	1-4	A	1-5	B	2-3	C	4-6	A	4-5	B	1-3	C	2-6	A	2-4	B	1-6	C	3-5
A	1-2																																					
B	3-4																																					
C	5-6																																					
A	3-6																																					
B	2-5																																					
C	1-4																																					
A	1-5																																					
B	2-3																																					
C	4-6																																					
A	4-5																																					
B	1-3																																					
C	2-6																																					
A	2-4																																					
B	1-6																																					
C	3-5																																					
	3. ゲームを行う。 ○ミニゲームを行ったチームとゲームをする。	3. ゲームを行う。 ○ミニゲームを行ったチームとゲームをする。	3. ゲームを行う。 ○ミニゲームを行ったチームとゲームをする。	3. チームタイム ○めあてを意識した活動ができたか振り返り、練習内容を考え練習する。		3. チームタイム ○めあてを意識した活動ができたか振り返り、練習内容を考え練習する。																																
	はじめのルール ・1チーム4人(キーパー1人) ・時間10分 ・ドリブルあり ・ボールを持って4歩以上歩けない ・試合開始はセンターラインから ・ボールが出たらその位置から ・シュートがはずれたらキーパーから	主な支援 ※進んでボールに触れようとしている子供を賞賛する。	主な支援 ※よい声かけや動きをしている子供を賞賛する。	主な支援 ※めあてを意識しゲームや練習をしている子供を賞賛する。 ※練習はミニゲームを参考にする とよいことを知らせる。		主な支援 ※めあてに沿った動きや声かけがあったときは、積極的に賞賛する。 ※パス、ドリブル、シュートなどの個人的技能興味を持っている子供にアドバイスする。		主な支援 ※今まで学んできたことを積極的に出しゲームをしている子供やチームを賞賛する。																														
40	3. 本時のまとめと後片付けをする。 ○協力して後片付けをする。 ○学習ノートをもとにチームで反省をする。 ○学習全体を振り返る。 ※安全面に気をつけて、後片付けをさせる。	4. 本時のまとめと後片付けをする。 ○協力して後片付けをする。 ○学習ノートをもとにチームで反省をする。 ○学習全体を振り返る。 ※安全面に気をつけて、後片付けをさせる。	4. 本時のまとめと後片付けをする。 ○協力して後片付けをする。 ○学習ノートをもとにチームで反省をする。 ○学習全体を振り返る。 ※安全面に気をつけて、後片付けをさせる。	5. 本時のまとめと後片付けをする。 ○協力して後片付けをする。 ○学習ノートをもとにチームで反省をする。 ○学習全体を振り返る。 ※安全面に気をつけて、後片付けをさせる。		5. 本時のまとめと後片付けをする。 ○協力して後片付けをする。 ○学習ノートをもとにチームで反省をする。 ○学習全体を振り返る。 ※安全面に気をつけて、後片付けをさせる。																																

